

2022/2/13-2

(オマケの「日本語教室」基本行動) うときゅういっきの「これからは」基本 書直し版  
書庫版



「文章は短い方が、インパクトがあつていいのだが、短過ぎて真意が十分に伝わらない場合がある」

例えば

「基本に忠実でありなさい。基本行動をキチンと守りなさい」

とはよく言われます。

是を聞けば

「そんなこといちいち言わなくてもわかって居る」

とか

「当たり前すぎてつまらない」

とかの反応が出るかと思えます。

しかし、本当にわかっているのでしょうか？意図していることが。

例えばこう付け加えるとどう感じますでしょうか？

「例え（一時）多少損をしても、少し位痛い目に合う事になっても」基本行動をきちんと守りなさい。という鍵括弧の部分です。

損をしたり、痛い目に合うのだったら「基本を変えた方がいいんじゃないの？だって損をしたり痛い目に合わない為の基本行動でしょう？」と仰る方もいらっしゃるかと思えますが、これは「短期的にその時だけ見た場合」の話で「長期的に見た場合」にはやはりトータル損益、トータルリスク回避の面では「基本に忠実であるべき」だと思ふのです。

我が国と同じくフィリピンは大津波や大型台風に見舞われ甚大な被害を何度被った国です。その経験からこの国のある島では警報がでると必ず住民は安全な場所に避難する様になったそうです。例え警報が何回もスカだった後でも、それでも文句も言わずに警報に従って避難してくるのだとあるニュースで知りました。

「何故そうするの？」

とインタビュアーが島民に尋ねると

「だって本当だったら大変でしょ。大変な事はいつも忘れた頃にやってくるから」と答えておりました。

そこで是を元にある試算をしてみました。

99回警報が発令された。

その避難行動に毎回10円かかって99回だと総額で990円損をした。

それで100回目には「もういい加減にしてくれ。オオカミ少年ごっこは」とばかりに避難を怠った。

なので、新たな10円の損失は防げたが、100回目にととう本物がやってきてこの一回だけの被害額が10000円だったとしたら。

被害にあった人は総額10990円の損。100回目も避難した人は990円+10円=1000円の損だけで済んだ事になります。その差10990円-1000円=9990円。

基本というのはどんな場合にもするから「基本」なのだと思います。

99回やって100回目を怠るのは「極めて基本に忠実に見えるだけの「状況行動」でしかない気がします。

なので、

「多少損をしても、少し位痛い目にあう事になるとしても」守るのが「基本行動」ではないかな、と。

2/10~2/11に続き本日も又「大雪警報」が発令されそうですが「基本は基本」対応策を講じました。

給与は全額支払いで社員の帰宅難民化を避ける為の早期退出による経費増とお店の早手仕舞で売上減にもなりますが「基本行動は基本行動」なので仕方ありません。

「損失0にはできないにせよ（こちらがpoint）」大損を小損で止めるのが危機管理の基本とその基本行動でしょうから。